

2022年8月24日

各位

SBIホールディングス株式会社

SBI R3 Japan 株式会社

**米国 DTCC が運用を開始した新たな株式決済基盤に**  
**米 R3 社の提供する Corda DLT が採用**

このたび、金融市場における主要なポストトレードインフラである米国 The Depository Trust & Clearing Corporation（以下「DTCC」）が、新たな株式決済基盤となる Project Ion プラットフォームの並行運用を開始し、その基盤技術として SBI グループが外部筆頭株主として出資している米 R3 社(以下「R3」)の提供する Corda DLT を採用したことが公表されましたので、お知らせいたします。

DTCC は世界最大級の証券決済・保管機関として 45 年以上の歴史を持ち、米国をはじめ世界 21 ヶ国の拠点を通じて、数多くの金融機関や運用会社に対し金融取引処理業務を効率化するサービスを提供しています。Project Ion は複数年にわたる DTCC の決済分野における分散型台帳技術(DLT)活用の研究を踏まえて 2020 年に開始されたプロジェクトで、上場株式の決済に掛かる期間を現在標準となっている T+2 決済から、T+1、T+0 へと短縮することを目指すものです。決済期間の短縮に伴い、取引を行う金融機関は未決済リスクが低減され、必要となる預託金も大幅に削減できるものと見込まれます。

今回並行運用が開始された、Corda DLT を基盤技術とする新たな株式決済基盤 Project Ion プラットフォームは、既存の決済基盤の代替サービスとして提供され、すでに 1 日平均で 10 万件、ピーク時には 16 万件の決済が処理されています。上場株の決済を対象とした金融業界で最大級の革新的な DLT 活用案件であり、今後は中央精算機関（Central Counter Party）との連携も含めた機能拡張を予定しています。

SBI ホールディングスと R3 の合弁企業として設立された SBI R3 Japan が日本において普及を推進する Corda DLT は企業間取引での利用に特化し、プライバシー・セキュリティ・スケーラビリティ・既存システムとの統合のしやすさをコアデザインとして備えており、規制下で活動する金融機関にとって信頼出来る基盤技術であることが Project Ion において採用された理由と考えています。

SBI グループではデジタルスペース時代において次世代の金融プラットフォームを目指して、引き続き高い技術力を有する関連ベンチャー企業への出資・提携に注力していきます。

以上

\*\*\*\*\*

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126

SBI R3 Japan 株式会社 セールス・マーケティング部 03-6229-0038